

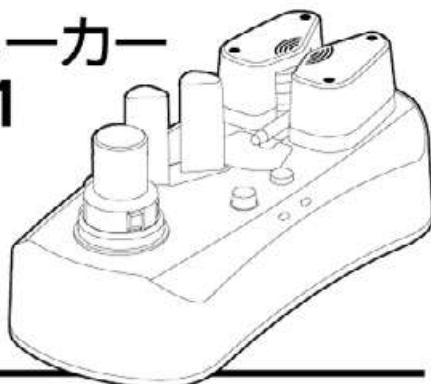


Air Cushion Maker

エアークッション・メーカー

品番 **ACM01/ACMA01**

取扱説明書



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

 この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。



ご使用の前に、「安全上のご注意」(1・2ページ)を必ずお読みください。

この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる場所に保管してください。

ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障・不具合がありましたら、お買い上げの販売店までお申し付けください。
- お客様または第三者がこの製品及び付属品の使用誤り・使用中に生じた故障・その他の不具合・使用によって受けられた損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- エアークッションフィルムを溶かして接着する為、ヒーターを使用しています。お買い上げ当初に、におい・わずかな油煙が出る場合は換気をして、しばらく空転させてください。
- においが強かったり煙が多く出る場合は、プラグをコンセントから抜き、カスタマーサービスセンターまでお申し付けください。

仕 様

ウォームアップ時間	約260秒間	ローラー本数	2本
フィルム送り速度	50Hz時: 約2.4m/分 60Hz時: 約3.0m/分	操 作 機 能	電源スイッチ・スタート/ストップボタン・ファンボリューム
空 気 量	約0.68ℓ/秒	表 示 機 能	電源ランプ・レディランプ
設置可能最大ロール長さ	200mm	制 御 機 能	オートスリープ機能・空気調整機能
設置可能最大ロール幅	200mm	コードの長さ	約1.5m
設置可能最大エアー クッションフィルム幅	150mm	使用電源	AC100V (50/60Hz)
		消費電力	60W (50/60Hz)
弊社指定ロールフィルム	エアークッションフィルム ACF80/ACFAB0 (弊社フィルム) エアークッションフィルム ACF100/ACFA100 (弊社フィルム) エアークッションフィルム ACF150/ACFA150 (弊社フィルム)	外 形 寸 法	W328×D150×H182mm
		質 量	約1.9kg
製 造 個 数	ACF80/ACFAB0 (80×200mm) 約28個/分 ACF100/ACFA100 (100×200mm) 約23個/分 ACF150/ACFA150 (150×200mm) 約15個/分	付 属 品	取扱説明書・保証書 エアークッションフィルム 80×200mm (50m)

株式会社アスカ カスタマーサービスセンター TEL.03-5690-9412

アスウィル事業部


受付時間:AM10:00~12:00/PM1:00~5:00月曜日~金曜日(祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く)


安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。


この取扱説明書及び製品には、ご使用になる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害・損害の程度を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷等を負う恐れがある」内容です。

 **注意** この表示の欄は「けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分しています。(図記号の一例です)

 この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

 この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

 説明書を読む ご使用の前に必ず 取扱説明書をよく読む	 水をかけたりしない ショート・感電の原因になります。 水ぬれ禁止
 子供使用禁止 子供の手の届く所で 使用しない けがをする恐れがあります。	 絶対に分解・修理・改造を しない けがをする恐れがあります。 ※修理は販売店までお申し付けください。 分解禁止
 100V以外禁止 交流100V以外の電圧で 使用しない 感電・火災の原因になります。	 強制 熱に弱い敷物の上、 燃えやすい物の近くで 使用しない 火災の原因になります。
 禁止 電源コードを傷つけたり、加工したり、 ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、 重い物を載せたり、束ねたりしない ショート・感電・火災の原因になります。	 禁止 本体の上に 物を置かない 火災の原因になります。
 プラグを抜く お手入れの時は、 プラグを必ず抜く けがをする恐れがあります。	 禁止 電源コードが破損した時は、 ご自身で修理しない ショート・感電・火災の原因になります。 ※修理は販売店までお申し付けください。
 手を触れるな 加熱ローラーおよび 加熱ローラーカバーに触れない 高温により火傷をしたり、挟んで けがをする恐れがあります。	 衣類巻込み注意 加熱ローラー部にネクタイ・ ネックレス・衣類等を 近づけない けがをする恐れがあります。

警告



髪の毛の巻き込み注意

加熱ローラー部に髪の毛を近づけない
けがをする恐れがあります。



禁止

高温多湿の場所、換気の悪い場所、ホコリの多い場所には置かない

ショート・感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

煙が出たり変なにおいや音がするなどの異常状態の時は、使用を止め、ご自身で修理しない

ショート・感電・火災の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、プラグを抜いてください。

※修理は販売店までお申し付けください。



プラグを抜く

機械内部に金属類や燃えやすい物、液体を入れたり、燃えやすい物を本体の上に置いたり、機械に落とさない

ショート・感電・火災の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、プラグを抜いてください。

※修理は販売店までお申し付けください。

注意



禁止

熱器具に近づけない
ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

湿気、水気のある所・屋外に置かない

ショート・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

プラグをぬれた手で抜き差ししない

感電の原因になります。



禁止

不安定な所に置かない

けがをする恐れがあります。



強制

プラグは根元まで確実に差し込む

感電・火災の原因になります。



禁止

直射日光の当たる所に置かない

変色・変形・故障の原因になります。



プラグを抜く

移動させる時は、プラグを必ず抜く

ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

ほこりの多い所に置かない

故障の原因になります。



プラグを抜く

プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜く

ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

落としたり、衝撃を与えない

故障の原因になります。



禁止

タコ足配線をしない

感電・火災の原因になります。



禁止

エアークッション製作以外の目的で使用しない

故障の原因になります。



プラグを抜く

長時間使用しない時は、プラグを必ず抜く

事故・感電・火災の原因になります。



禁止

シンナー・ベンジン・ガソリン・クレンザー等は使用しない

変色・変形・キズの原因になります。



禁止

指定のロールフィルム以外は使用しない

ショート・感電・火災・事故・故障の原因になります。



禁止

電源コードを束ねたまま使用しない

故障・火災の原因になります。

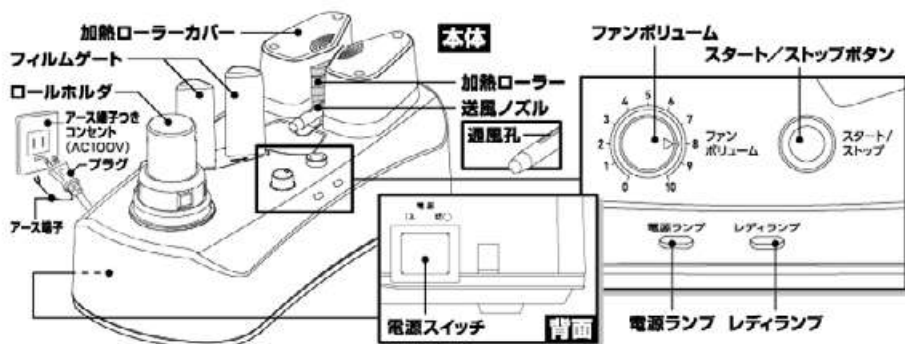


禁止

ロールフィルムが挟まった状態で、電源スイッチを入れたまま放置しない

火災の原因になります。

各部の名称・スイッチの使い方



電源スイッチ	入	電源スイッチを「入」にすると電源が入り、電源ランプが赤色に点灯及びレディランプが緑色に点滅してウォームアップを開始します。
	切	電源スイッチを「切」にするとすべてのランプが消灯し、電源が切れます。 ●長時間使用しない時・お手入れの時・移動する時は電源スイッチを「切」にし、プラグを必ず抜いてください。
レディランプ	点灯	エアークッションを作る準備ができました。スタート/ストップボタンが有効になります。
	点滅	エアークッションを作る準備ができていません。 スタート/ストップボタンは無効になり動作しません。 ●レディランプが点灯するまでお待ちください。
スタート/ストップボタン		スタート/ストップボタンを押すと加熱ローラーが回転し、ファンボリュームが有効になります。加熱ローラーが回転している状態でスタート/ストップボタンを押すと、加熱ローラーとファンが停止し、ファンボリュームは無効になります。 ●エアークッションを作らない時は加熱ローラーの回転をストップさせてください。 ●エアークッションの製作をやめる時は加熱ローラーからフィルムが完全に排出されたことを確認してからストップさせてください。 ●エアークッションの製作をやめた後、フィルムの一部が加熱ローラーに詰まって取り出せない時は加工物を無理に引っ張り出さないでください。
ファンボリューム		ファンボリュームを適切な位置まで回すと送風ノズルより空気が排出されます。エアークッションを作る時にボリュームを調節してください。ボリュームを「0」の位置に戻すと空気の排出がストップします。 ●フィルムを送風ノズルに装着する際に空気の排出をストップさせてください。 ●エアークッションの製作をやめる時は、フィルムが完全に加熱ローラーから排出された後にファンボリュームを「0」の位置に戻してください。 ●使用しない時はファンボリュームを「0」の位置に戻してください。

主な機能

スリープ機能	レディランプが点灯した後、スタート/ストップボタンを押さずに加熱ローラーが回転していない状態の時、30分後に節電のためスリープモードに移行します。 ●スリープモードに移行する約5分前にレディランプと電源ランプが点滅します。この状態でスタート/ストップボタンを押すと継続してご使用でき、次の30分で同様にスリープモードへ移行します。 レディランプが点灯した後、スタート/ストップボタンを押して加熱ローラーが回転している状態の時、90分後に節電のためスリープモードに移行します。 ●スリープモードに移行する約5分前にレディランプと電源ランプが点滅します。この状態でスタート/ストップボタンを押すと加熱ローラーの回転が止まります。再度スタート/ストップボタンを押すと加熱ローラーが回転します。次の90分で同様にスリープモードへ移行します。 ●スリープモード中は加熱ローラーが切れるため温度が下降していきます。 ●使用する時はスタート/ストップボタンを再度押して、ウォームアップを再開させてください。 ●そのまま使用しない時は電源スイッチを「切」にし、プラグを必ず抜いてください。
空気調整機能	ファンボリュームを調整することで、複数のフィルムに対応した空気量を排出できます。 ●使用しない時はファンボリュームを「0」の位置に戻してください。

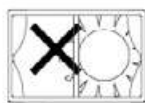
設置方法 プラグが抜けていることを必ずご確認ください

以下のような所に置かないでください

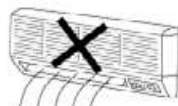
- ストープ等の発熱する物・熱に弱い物・燃えやすい物の近く
- クーラー等の冷気・直射日光が当たる所
- 傾いていたり、不安定な所
- 湿気、水気のある所・屋外
- 風通しの悪い所
- ほこりの多い所



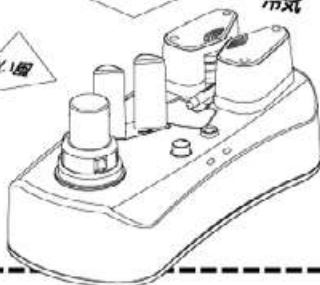
傾かない所



直射日光



冷気



- 1 水平で安定した所に設置してください。
- 2 プラグをコンセントに差し込んでください。
- 3 必ずアース端子をアース接続してご使用ください。

設置時のお願い

本体に重量のあるロールフィルムを設置して使用します。必ず水平で安定した場所に設置してください。

● 本体やロールの落下につながり、怪我や故障の原因となります。

加熱ローラーよりエアークッションが製作されて行きます。加熱ローラー後方に物を置かないようにしてスペースを空けてください。

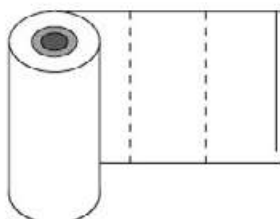
● 制作されたエアークッションが排出されるスペースが十分ないとフィルム詰まりが起こり、故障・変形の原因になります。

アース端子をアース接続してご使用ください。

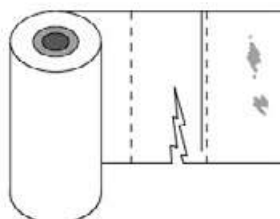
エアークッション製作の仕方

故障の原因になるため、絶対にお守りください

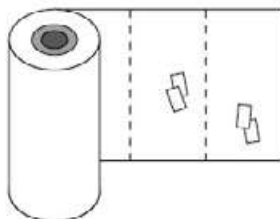
使用禁止物を加熱ローラーに挟まないでください



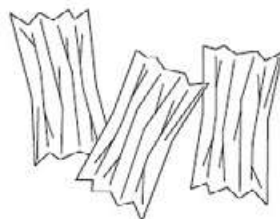
弊社指定フィルム以外の
フィルムや物



破れていたり
汚れているフィルム



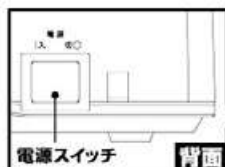
袋内部に異物が入っている
フィルム



使用済みフィルムの
再利用はしない

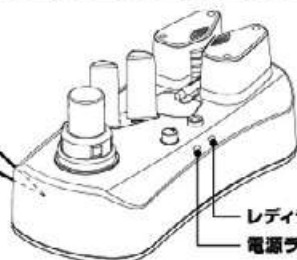
- 1 電源スイッチを「入」にしてください。

●レディランプが緑色に点滅し、電源ランプが赤色に点灯してウォームアップを開始します。



電源スイッチ

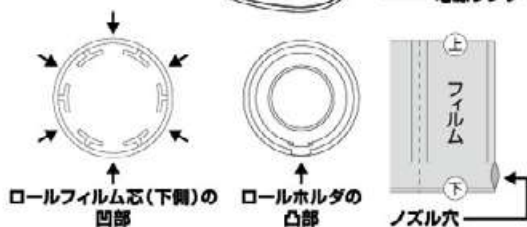
背面



レディランプ
電源ランプ

- 2 本体のロールホルダに製作したいロールフィルムを正しく設置してください。ロールホルダの凸部とロールフィルム芯の凹部に合わせて固定してください。

●フィルム最下部に送風ノズル挿入用のノズル穴が開いていることを確認してください。



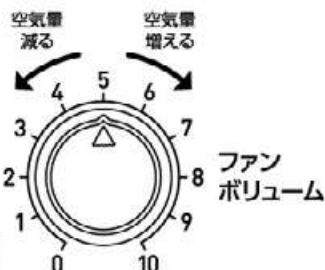
ロールフィルム芯(下側)の
凹部

ロールホルダの
凸部

フィルム
ノズル穴

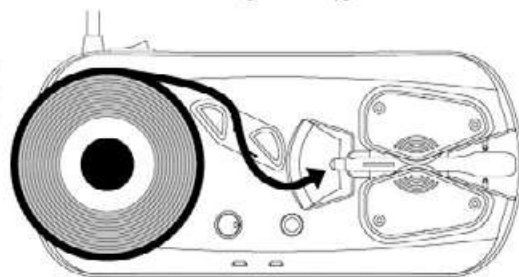
- 3 レディランプが緑色に点灯するまで約260秒間お待ちください。
 ●ウォームアップが完了するとレディランプが緑色に点灯してクッション制作準備完了をお知らせします。

- 4 ファンボリュームを適切な位置に回してください。
 ●空気量の目安はエアークッションの張り具合を見てください。また製造中はフィルムゲート近辺まで空気が入るようにファンボリュームを調整してください。
 ●空気量が足りないとエアークッションは緩衝材としての機能が低下します。ファンボリュームを調整して空気量を増やしてください。
 ●空気量が多すぎるとロール部まで空気が注入されてしまい、フィルムの送り速度に影響が出ます。空気量を調整して空気量を減らしてください。

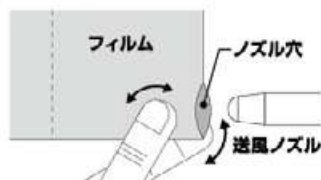


※フィルム幅が80~150mmの場合、4~6の範囲を推奨します。

- 5 ロールホルダに設置したロールからフィルムを伸ばし、フィルムゲートの間に右図のようにフィルムを通してください。

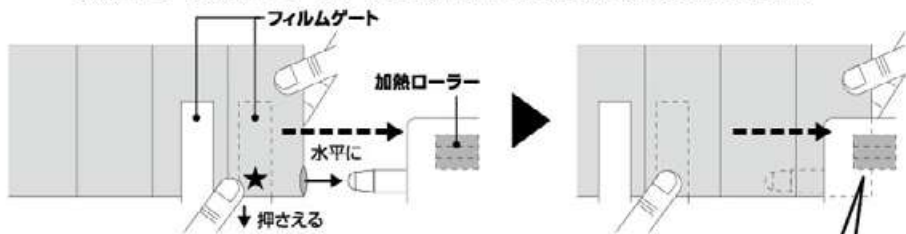


- 6 フィルム最下部の送風ノズル挿入用のノズル穴を広げ、送風ノズルが入りやすいようにしてください。
 ●穴の部分をこすることでノズル穴が広がりやすくなります。

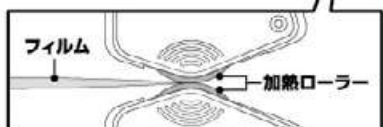


- 7 フィルムのノズル穴に送風ノズルを挿入し、図の★の位置を下に押さえながらフィルムを加熱ローラー部まで水平に引っ張り、フィルムが加熱ローラーに巻き込まれる位置までもってきてください。

- 加熱ローラーに巻き込まれる位置までフィルムを水平に引っ張ってください。
 ●加熱ローラー部、加熱ローラーカバー部等は高温になっております。触らないようにしてください。

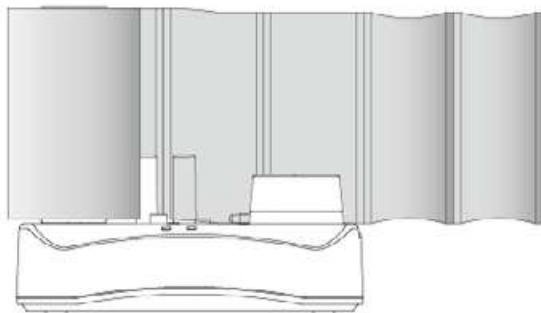


- 8 スタート/ストップボタンを押してください。
 ●加熱ローラーが回転を始めます。
 ●ファンボリュームが適切な位置にあることを確認してください。



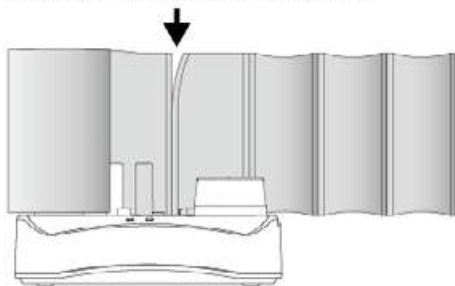
エアークッション製作の仕方

- 9 フィルムが加熱ローラーに挟まれ送り出され、同時に空気が排出されたことを確認してください。
- 10 ファンボリュームを微調整しながらエアークッションを製作してください。

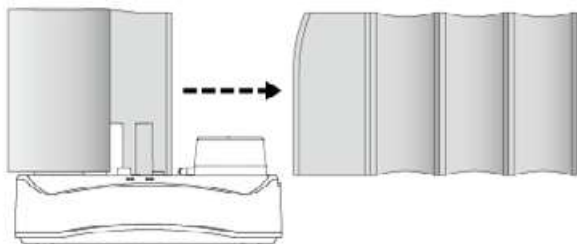


製作を止める時

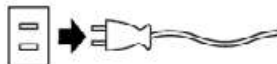
- 11 製作中の機械をいったん停止させるために、スタート/ストップボタンを押してください。
 - 機械が停止していることと、空気が排出されていないことを確認してください。
- 12 フィルムゲートと加熱ローラーの間あたり(下図参照)にあるロールフィルムのミシン目に沿ってクッションを切り離してください。



- 13 フィルムを完全に加熱ローラーから排出させるために、再度スタート/ストップボタンを押してください。
 - 加熱ローラーが回転し、フィルムが完全に排出されたことを確認してください。
 - 長時間フィルムが加熱ローラーに挟まった状態にしておくと、フィルムが溶けて出火や故障の原因となります。速やかにスタート/ストップボタンを押してフィルムを完全に排出してください。
 - フィルムが加熱ローラーに残ってしまった場合はPBの「フィルムが加熱ローラーに巻きついて排出されない時」を参照してください。



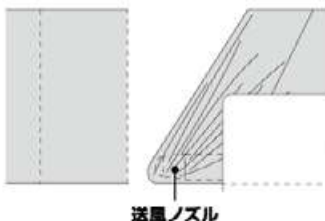
- 14 排出後にスタート/ストップボタンを押して加熱ローラーとファンを停めます。
- 15 電源スイッチを「切」にし、本体からロールフィルムをはずしてプラグを必ず抜いてください。



こんな時は

送風ノズルにフィルムが引っ掛かった時

- 1 スタート/ストップボタンを押して、加熱ローラーが回転するのを停めます。
- 2 引っ掛かったフィルム部分よりもロールホルダ側のミシン目からフィルムを切り取ってください。
- 3 送風ノズルに引っ掛かったフィルムにハサミなどで切れ目を入れてください。
- 4 スタートストップボタンを押して加熱ローラーを回転させ、引っ掛かったフィルムを完全に排出させてください。



フィルムが加熱ローラーに巻き付いて排出されない時

フィルムが加熱ローラーに巻き付いてしまい、加熱ローラーが回転していてもフィルムが排出されない時は電源スイッチを「切」にし、一定時間おいて加熱ローラー部、加熱ローラーカバー部の温度が十分冷えた後に引き抜いてください。

- フィルムを引き抜くことが難しい場合や内部に入ってしまった場合は触らないで、P10「保証とアフターサービス」をお読みいただいたから修理をお申し付けください。

フィルムのノズル穴の状態が悪い時、送風ノズルが挿入しづらい時

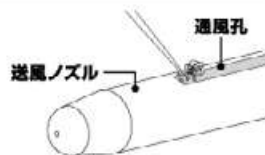
- 1 フィルムのノズル穴が小さい時はハサミなどで切れ目を入れてください。
- 2 フィルムのノズル穴付近に右図のように溶けた部分がある場合はフィルムのミシン目から1個分を切り取って捨ててください。



メンテナンス

加熱ローラー、送風ノズルのお手入れ

- 1 プラグを抜いてください。
- 2 加熱ローラー、送風ノズルからゴミ等を除去してください。



本体のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてください。

- 汚れがひどい時は水で薄めた中性洗剤を少しつけた布で拭いてから乾いた布で拭きとってください。

お願い

- シンナー・ベンジン・ガソリン・クレンザー等は使用しないでください。
- 絶対に分解・修理・改造はしないでください。
- 本体のお手入れの時はプラグを必ず抜いてください。

故障かな?と思われた時

修理をお申し付けいただく前に、取扱説明書をよくお読みの上、ご使用方法をご確認ください

こんな時は	処 置
電源スイッチが「入」でもすべてのランプが消灯している	プラグが外れていませんか? プラグは根元まで確実に差し込んでください。
加熱ローラーが回転しない	プラグが外れていませんか? プラグは根元まで確実に差し込んでください。
	電源ランプが点滅していませんか? スリープモードになっています。スタート/ストップボタンを押してウォームアップを再開してください。 P.3「スリープ機能」参照
空気が出ない	加熱ローラーにロールフィルムや使用禁止物が挟まっていませんか? フィルムや異物を引き抜いてください。 P.8「フィルムが加熱ローラーに巻き付いて排出されない時」参照
	ファンボリュームが0になっていませんか? ファンボリュームを調整してください。 P.6 ④参照
エアークションが膨らまない	送風ノズルの通風孔に異物が挟まっていませんか? 送風ノズルを清掃してください。 P.8「メンテナンス」参照
	ファンボリュームの位置は調整していますか? ファンボリュームを調整してください。 P.6 ④参照
エアークションが加熱ローラーに引っ掛かる	使用禁止物を使っていませんか? 使用禁止物を使わないで下さい。 P.5「故障の原因になるため、絶対にお守りください」参照
	加熱ローラーに異物がついていませんか? 加熱ローラーを清掃してください。 P.8「メンテナンス」参照
送風ノズルにフィルムが引っ掛かる	ロールフィルムの最下部に十分なノズル穴が開いていますか? フィルムに切れ目を入れたり、フィルムのミシン目から一個分を切り取って捨ててください。 P.8「フィルムのノズル穴の状態が悪い時、送風ノズルが挿入しづらい時」参照
	ロールフィルムの最下部に十分なノズル穴が開いていますか? フィルムに切れ目を入れたり、フィルムのミシン目から一個分を切り取って捨ててください。 P.8「フィルムのノズル穴の状態が悪い時、送風ノズルが挿入しづらい時」参照

以上のチェックを行っても直らない場合は、まずお求めの販売店まで下記の事項をできるだけ詳しくお申し付けください。

- ① 故障状況 ② 品番「ACM01・ACMA01」 ③ ご購入年月日(保証書に記入されています。)

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・ご不明な点等は、まず、お買い上げの販売店までお申し付けください

■ 保証書

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

保証期間中でも、有料になることがありますので保証書をよくお読みください。
※本機を分解されますと、保証が無効になります。

■ 修理を依頼される時は

P.9「故障かな?と思われた時」をご確認ください。それでも異常がある時は、使用をやめて、お買い上げの販売店まで保証書を添え、この製品を「お持込」の上、修理をお申し付けください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきます。

● 保証期間を過ぎている時は

修理によりご使用できる場合には、有料で修理させていただきます。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、基本料・技術料・部品代等で構成されています。

基本料:診断・点検等の費用です。

技術料:故障した製品を正常にするための修理・調整等の作業にかかる費用です。

部品代:修理に使用した部品代金です。

■ 出張修理は行っておりません

点検・修理の発送のために外箱・緩衝材を保管しておいてください。

■ お問い合わせは

この製品についてのご意見・ご質問はカスタマーサービスセンターまでお申し付けください。

お願い 修理をお申し付けいただく時は、付属品も一緒にお持込ください。

■ 便利メモ お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です

お買い上げ日	販売店名
年 月 日	電話() -

要情点検

長年ご使用のエアークッション・メーカーの点検を!

ご使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、安全性を損なう事故につながる可能性があります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源を入れても可動しなかったり、途中で止まったりする。
- 電源コードに傷があったり、電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 異常な発熱・異音・異臭がする。

故障・事故防止のために、電源スイッチを「切」にし、プラグをコンセントから必ず抜き、お買い上げの販売店までお申し付けください。

保証内容（修理規定）

1. 取扱説明書・本体貼り付けラベル等の使用上の注意に従った使用方法で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店まで製品と本書と、お買い上げが証明できる領収書やレシートを「お持込」の上、修理をお申し付けください。
 (ロ) お送りいただく場合の梱包・輸送の費用等はお客様のご負担になります。
2. 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障・損傷。
 (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設・輸送・落下等による故障・損傷。
 (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)等による故障・損傷。
 (ニ) 車両・船舶等に搭載された場合に生ずる故障・損傷。
 (ホ) 本書のご提示がない場合。
 (ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合には、お買い上げの販売店または、株式会社アスカのカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

エアークッション・メーカー

保証書

持込修理

お客様	お名前				様
	ご住所	〒			
	電話番号	()	—		
	お買い上げ日	年	月	日	
販売店名・住所・電話番号					印
電話() —					

品名 **エアークッション・メーカー**
 品番 **ACM01/ACMA01**
 保証期間 お買い上げより1年間

〈販売店様へお願い〉
 左記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書等、お買い上げの年月日・店名等を証明する物をお貼りください。

株式会社アスカ
アスウィル事業部

カスタマーサービスセンター ☎ 03-5690-9412
 受付時間: AM10:00~12:00/PM1:00~5:00
 月曜日~金曜日
 (祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く)

保証書にご記入いただきました個人情報の取扱について

お客様にご記入いただきました保証書記載の個人情報(お名前・ご住所・電話番号)は保証期間内のリープスの目的にのみ利用させていただきます。これらの情報は、お客様に明示した利用目的の範囲をこえて利用することはありません。業務上必要な範囲をこえて、個人情報を第三者(修理委託先は除く)に開示または提供いたしません。

修理メモ